

コピテル工業株式会社

YUPITERU

特定小電力トランシーバー

CT-550

取扱説明書／保証書

このたびは、コピテルの特定小電力トランシーバーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

また本機は電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するトランシーバーです。

注意

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

保証書

品番	CT-550	S／No.	
お買い上げ年月日	年 月 日		

本書は、本書記載の範囲内での使用を、有効とするものです。
保証期間中に、正しく使用状態で故障が発生した場合に、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店

上記に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名などを証明するものを、ご持参ください。

コピテル工業株式会社

〒108 東京都港区芝浦4-12-33

6SS0591

＜無料修理規定＞

保証期間	対象部分	本体	お買い上げの日から1年
お客様住所			
お名前			様

①上記記載の保証期間内に、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
②保証期間内に無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
③ご購入ご贈答品などで本保証書に記載してあるお買い上げの販売店に修理が依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご連絡ください。
④保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造などによる故障および損傷
(ロ) お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷
(ニ) 特殊な条件下での結露や汚れなどによる故障および損傷
(ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ) 消耗部品に類するものの交換
(ト) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
(チ) 本書のご提示がない場合
(リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
⑤本書は、日本国内のみにおいて有効です。
This warranty is valid only in Japan.
⑥本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の点は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

絵表示について

△ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

ⓧ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

警告

警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない

中に入った場合は、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると火災や故障の原因となります。

万一、キャビネットを破損した場合は、すぐに使用を中止する

そのまま使用すると火災や故障の原因となります。

雷が鳴り出したら使用を中止する

落雷の恐れがあります。

サービスマン以外の人は、絶対に分解したり、改造したり、修理しない

火災や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。また、本機を分解したり改造することは電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

煙が出ている、変な臭いがあるなど、異常な状態のまま使用しない

発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。

旅客用飛行機の中では使用しない

飛行機の計器に異常を与える可能性があります。絶対にお止めください。

医用電気機器の近くでは使用しない

植え込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。医用電気機器の近くでは電源を切り、絶対に使用しないでください。

注意

注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、ホコリや油煙の多い場所に置かない

火災や故障の原因となります。

指定以外の電池は使用しない、また、古い電池を混ぜて使用しない

破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚損する原因となります。

電池を入れるときは、極性に注意し、指示通りに入れる間違えて入れると、破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚損する原因となります。

使用済みの電池を火中に投げ入れない

爆発して火災や火傷の原因となります。

長期間で使用にならないときは、中の電池を抜く

液漏れにより、周囲を汚損する原因となります。

イヤホンやヘッドセットで使用するときは、音量に注意する

突然の音で耳を痛める恐れがあります。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。

症状	確認内容
電源が入らない	・乾電池が消耗していませんか？ ・乾電池が正しく入っていますか？
▲▼ボタンがはたらかない	・キーロック機能がはたらいていませんか？
相手と交信できない	・アンテナを立てていますか？ ・相手と離れすぎていませんか？ ・相手とチャンネルが違っていませんか？
送信できない	・交信終了後2秒以上経過していますか？ ・電波を受信していませんか？
受信時に異音がする	・乾電池が消耗していませんか？
確認音が出ない	・確認音を消していませんか？
チームモードを使った交信ができない オートコールモードで呼び出しができない	・全員がチームモードに設定されていますか？ ・全員がオートコールモードに設定されていますか？
「ザー」という音が消えない	・MONIボタンが1度押したままになっていませんか？ ・他の無線機などの影響を受けていませんか？

各部の名称とはたらき

①アンテナ

②PTTボタン

③電源ボタン

④MONIボタン

⑤▲▼ボタン

⑥電池カバー(裏面)

⑦スピーカー/マイク端子

⑧音量ツマミ

⑨FUNC/ⓧボタン

⑩マイク

⑪スピーカー

ディスプレイ

⑫ローバッテリー表示

⑬DX表示

⑭APO表示

⑮送信表示

⑯アンテナ表示

⑰受信表示

⑱キーロック表示

⑲FUNC表示

⑳TEAM表示(チーム)

㉑AUTO表示(オートコール)

㉒チャンネル表示(1～9)

■ディスプレイ

⑫ローバッテリー表示

⑬DX表示

⑭APO表示

⑮送信表示

⑯アンテナ表示

⑰受信表示

⑱キーロック表示

⑲FUNC表示

⑳TEAM表示(チーム)

㉑AUTO表示(オートコール)

㉒チャンネル表示(1～9)

ベルトクリップの取り付けかた

図のように差し込みます。

取りはずすときは、ストッパーをこしながら上へスライドさせます。

ストッパー

電源について

市販の単3形乾電池をお買い求めください。

1.電池カバーを開ける

2.⊕と⊖を間違えないように電池を入れる

3.電池カバーを閉める

・消耗した電池を使用していると、受信時に異音が生じることがあります。

注意

・指定以外の電池を使用したり、古い電池を混ぜて使用しないでください。
・長期間ご使用にならないときは中の電池を抜いてください。

1

2

3

電池の交換時期

ローバッテリー表示(ⓧ)が点滅したら、3本とも新しい電池に交換してください。

電池寿命の目安(アルカリ電池使用時)

一般使用時…約65時間(送信30秒間、受信30秒間、待ち受け4分間を繰り返したとき)
待ち受け時…約100時間

※電池寿命は使用する条件によって異なります。とくに寒冷地では、電池寿命が短くなります。

仕様

●送信周波数：422.200～422.3000MHz
(12.5kHzステップで9チャンネル)

●電波型式：F3E

●連続送信時間：3分以内

●送信出力：10mW

●受信感度：-9dBμV以下(DX)
(12dB SINAD)

●低周波出力：90mW以上
(4.5V、8Ω、THD5%時)

●定格電圧：4.5V(単3形乾電池3本)

●消費電流
待ち受け(バッテリーセーブ)時：
通常…約18mA ロングモード…約13mA
送信時：約53mA
受信時：約80mA(90mW出力時)

●動作温度範囲：-10℃～+50℃

●防滴の種別：JIS C0920防滴Ⅱ形

●寸法：56(W)×109(H)×28(D)mm
(突起部含まず)

●重量：約185g
(電池、ベルトクリップ含む)

●付属品：ベルトクリップ(1)、取扱説明書/保証書(1)、ご相談窓口一覧(1)

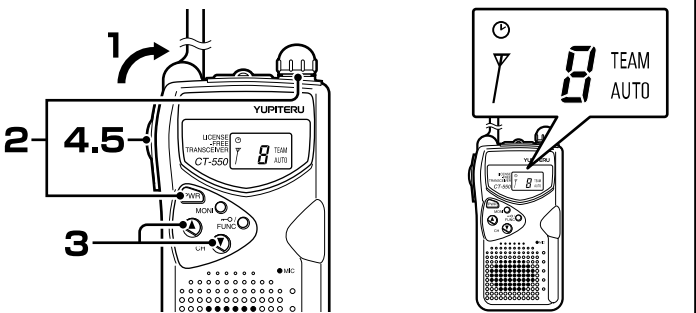
※仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

交信のしかた

本機は、通常の交信の他に、本機で交信する仲間だけで使える2つの便利な交信モードがあります。

通常の交信

使用するチャンネルを、あらかじめ交信する相手と決めておきます。他の9チャンネル特定小電力トランシーバーとも交信できます。



交信の準備をする

- アンテナを立てる
- 電源ボタンを約1秒間押し、電源を入れ、音量ツマミを中間の位置にする
- ▲または▼ボタンを押して、交信する相手と同じチャンネル（1～9）に合わせる
 - 選んだチャンネルが表示されます。
 - ▲または▼ボタンを2秒間以上押し続けると、スキャン機能がはたります。

送信するには

- PTTボタンを押しながら、マイクに向かって話す
 - PTTボタンを押している間は送信状態となり、送信表示（）が点灯します。

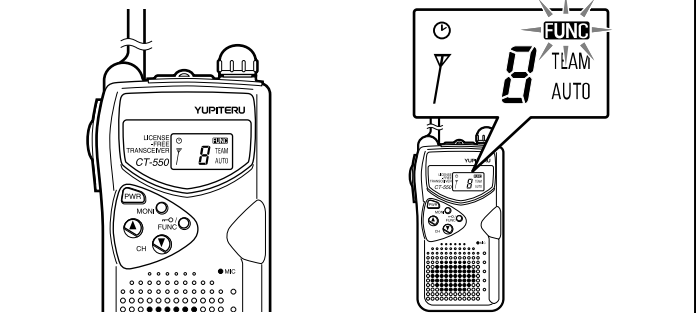
受信するには

- PTTボタンから指を放して待つ
 - 相手から送信があると、受信表示（）が点灯し声が聞こえます。音量を調節してください。
 - 相手の声が途切れるときは、MONIボタンを押してください。聞き取りやすくなる場合があります。（モニター機能）元に戻すときは、もう1度MONIボタンを押します。
 - ※ 通常はモニター機能を解除して使います。

いろいろな機能の設定や解除（ファンクション状態）

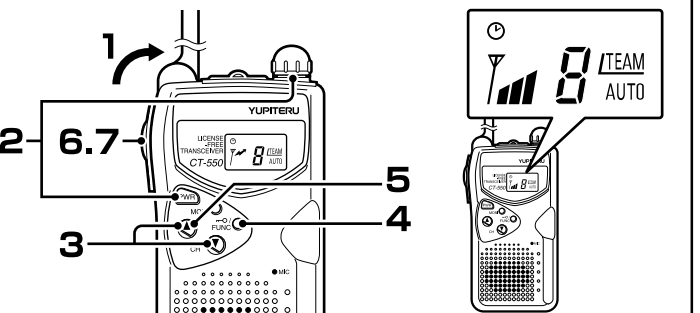
本機のFUNC/ボタンを押して放すと、約3秒間のファンクション状態になり、**FUNC**が点灯します。いろいろな機能の設定や解除は、このファンクション状態（**FUNC**点灯中）から続けて操作します。

※2秒間以上、FUNC/ボタンを押し続けると、キーロックされます。
※約3秒間以内に次の操作をしないと、ファンクション状態は解除されます。



チームモードを使った交信

本機同士の交信では、チームモードにすると、同じモードにしている相手の声だけを受信することができます。



交信の準備をする（交信する全員が設定してください）

- アンテナを立てる
- 電源ボタンを約1秒間押し、電源を入れ、音量ツマミを中間の位置にする
- ▲または▼ボタンを押して、交信する相手と同じチャンネル（1～9）に合わせる
- ファンクション状態にする
 - FUNC**が点灯します。
- FUNC**点灯中に、▲ボタンを押して、TEAM表示にバー（—）を点灯させる。
 - チームモードになります。
 - 手順4、5を繰り返すと、交信モードが切り換わります。

ディスプレイ表示	TEAM	AUTO	TEAM AUTO
交信モード	→ チームモード	→ オートコールモード	→ 解除 (通常の交信)

送信するには

- PTTボタンを押しながら、マイクに向かって話す
 - 最初に送信するときは、呼出音が約1.5秒間鳴ります。呼出音が鳴り終わったら、話し始めてください。
 - ※ 呼出音が鳴っている間は交信できません。
 - ※ 約8秒間以上交信がなかった場合、最初に交信するときに、呼出音が鳴ります。

受信するには

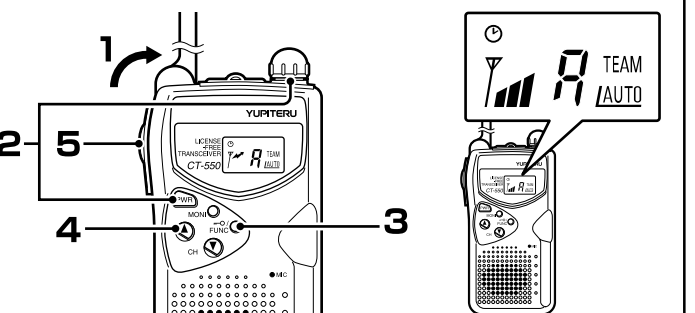
- PTTボタンから指を放して待つ
 - 最初に相手から送信があると、呼出音のあとに声が聞こえます。音量を調節してください。
 - ※ 交信内容は、同じチャンネルを使用している他のトランシーバーでも受信できます。

チームモードの交信終了後には

※ 交信終了後約8秒間は、通常と同じような交信となるため、他の同じチャンネルの声が聞こえることがありますが、その交信が終わって8秒後には、聞こえなくなります。

オートコールモードを使った交信

本機同士の交信では、オートコールモードにすると、自動的に使用できるチャンネル(空チャンネル)を選択します。



交信の準備をする（交信する全員が設定してください）

- アンテナを立てる
- 電源ボタンを約1秒間押し、電源を入れ、音量ツマミを中間の位置にする
- ファンクション状態にする
 - FUNC**が点灯します。
- FUNC**が点灯している間に、▲ボタンを押して、AUTO表示にバー（—）を点灯させる。
 - オートコールモードの待ち受け状態になります。
 - チャンネル表示部に**A**が点灯します。
 - 手順3、4を繰り返すと、交信モードが切り換わります。

ディスプレイ表示	TEAM	AUTO	TEAM AUTO
交信モード	→ チームモード	→ オートコールモード	→ 解除 (通常の交信)

交信するには

- PTTボタンを押す
 - 相手に呼出音を約5秒間送信（呼出音が聞こえます）したあと、空チャンネルを探し出して、選択したチャンネルで待ち受け（交信できる）状態となります。
 - ※ 空チャンネルを探し出したあと、オートコールモードは自動的に解除されます。
 - 交信は、通常と同じです。PTTボタンを押しながらマイクに向かって話します。
 - ※ 呼出音が鳴っている間は交信できません。
 - ※ 空チャンネルがないときは、“ピピピ”と鳴ります。オートコールモードの待ち受け状態のままとなります。

便利な機能

DXモードについて

受信感度を上げることができます。

- ファンクション状態にする
 - FUNC**が点灯します。
- FUNC**が点灯している間に、▼ボタンを押す
 - “ピッ”と鳴り、DX表示が点灯して受信感度が上がります。
 - ※ 受信感度を戻すときは、もう1度ファンクション状態で▼ボタンを押します。
 - ※ DXに設定して雑音（ノイズ）などが増えた場合は、解除してください。

DXモードは、他の電波の影響が少ない場所での交信に最適です。市街地など他の電波の影響を受けやすい場所では、DXモードを解除して交信してください。

ロングセーブモードについて

本機は、何も受信されない状態が2秒間（チームモードのときは条件により変化します）以上続くと自動的にバッテリーセーブモードがはたらき、電池の消耗を防ぎます。また、待ち受け中の電池の消耗をさらに抑えるロングセーブモードを設定することができます。（通常の100時間を140時間に延長）

- ファンクション状態にする
 - FUNC**が点灯します。
- FUNC**が点灯している間に、MONIボタンを押す
 - “ピッ”と鳴り、アンテナ表示（）が点滅し、ロングセーブモードになります。
 - ※ 解除するときは、もう1度ファンクション状態でMONIボタンを押します。
 - ※ チームモード、オートコールモード中は設定できません。
 - ※ 電源を切っても解除されません。ただし、チームモードやオートコールモードにした場合や電池交換をしたときは解除されます。
 - ※ 受信のとき、相手からの最初の声（約1秒間）が聞こえないことがあります。

キーロック機能について

誤ってボタンを押して、チャンネルなどが切り換わることを防止します。

- FUNC/ボタンを2秒間以上押し続ける
 - “ピッ”と鳴り、キーロック表示（）が点灯し、キーロック機能がはたらきます。
 - ※ キーロック機能を解除するときは、もう1度FUNC/ボタンを2秒間以上押し続けます。

確認音について

ボタンを押したときに鳴る確認音（ピッやピポ）を、鳴らないようにすることができます。

- FUNC/ボタンを押しながら、電源を入れる
 - 確認音が鳴らなくなります。
 - ※ 鳴るようにするときは、電源を切り、もう1度FUNC/ボタンを押しながら、電源を入れます。
 - ※ チームモード、オートコールモード中の呼出音はいつでも鳴ります。

■確認音の種類	
ピッ	・各ボタンを押したとき
ピピッ	・連続交信時間の残り時間が10秒以下になったとき ・各設定を変更したとき
ピポ	・1チャンネルを選んだとき
ピピピ	・同じチャンネルの強い電波を受信中にPTTボタンを押した場合など、送信できないとき
ポポポ	・電池の交換が必要とき

呼出音について

通常の交信でも、呼出音を鳴らして相手に知らせることができます。

- ファンクション状態にする
 - FUNC**が点灯します。
- FUNC**が点灯している間に、PTTボタンを押す
 - 呼出音が鳴ります。
 - 交信は、呼出音が鳴り終わってから、PTTボタンを押して話し始めてください。
 - ※ 呼出音は、送信側と受信側の両方で鳴ります。

スキャン機能について

▲または▼ボタンを2秒間以上押し続けると、スキャンが始まり、電波を受信するとスキャンが停止します（チャンネル表示は点滅）。その電波が途切れたときは、再びスキャンが始まります。スキャンを解除するにはPTTボタンを押してください。

※ もう1度▲または▼ボタンを2秒間以上押し続けてもスキャンを解除できます。
※ スキャン中に、至近距離で交信中の電波を受信した場合には、送信側チャンネルの前後（隣り）のチャンネルでスキャン停止することがあります。

ディスプレイの照明について（自動点灯）

PTTボタン以外や電源ボタンを押すたびに、ディスプレイの照明が点灯します。（約3秒間）

解除するには

- 電源を切ってから、MONIボタンを押しながら電源を入れる
 - ※ 点灯させるときは、電源を切り、もう1度MONIボタンを押しながら、電源を入れます。

APO（オートパワーオフ）機能について

ボタンの操作や受信が1時間以上ない場合は、電源が自動的に切れます。電源が切れる約30秒前は“ピピピ”と3回鳴ります。

解除するには

- 電源を切ってから、PTTボタンを押しながら電源を入れる
 - “ピピッ”と鳴り、APO表示（）が消灯します。
 - ※ APO機能を設定するときは、電源を切り、もう1度PTTボタンを押しながら電源を入れます。

送信終了音について

相手に送信が終わったことを知らせる“ビー”という送信終了音を鳴らすことができます。（お買い上げの際は、鳴らないように設定されています。）

- 電源を切ってから、▼ボタンを押しながら電源を入れる
 - “ピピッ”と鳴り、送信終了音が鳴るようになります。
 - ※ 鳴らないようにするときは、電源を切り、もう1度▼ボタンを押しながら、電源を入れます。
 - ※ 送信終了音は、送信側と受信側の両方で鳴ります。

交信距離について

電波の届く距離は、周囲の状況により大きく異なります。

- スキー場などの開けた地形では 約2km～3km
- 郊外では 約1km～2.5km
- 高速道路では 約500m～800m
- 市街地では 約100m～300m

リセット機能について

▲と▼ボタンを同時に押しながら電源を入れると、初期設定に戻ります。

■初期設定	
機 能	設 定
チャンネル	1ch
チームモード	OFF
オートコールモード	OFF
APO（オートパワーオフ）	ON
DXモード	OFF
ロングセーブモード	OFF
キーロック	OFF
確認音	ON
ディスプレイ照明	ON
送信終了音	OFF